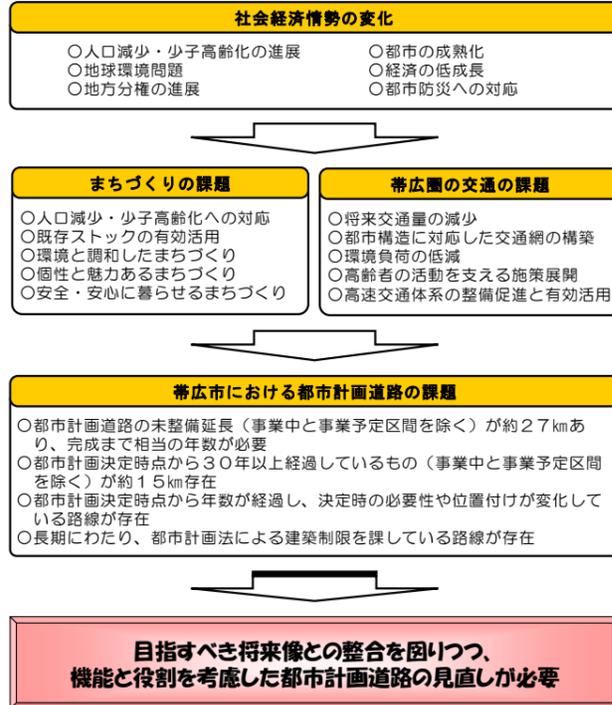


帯広市都市計画道路見直しの基本的な考え方 【概要版】

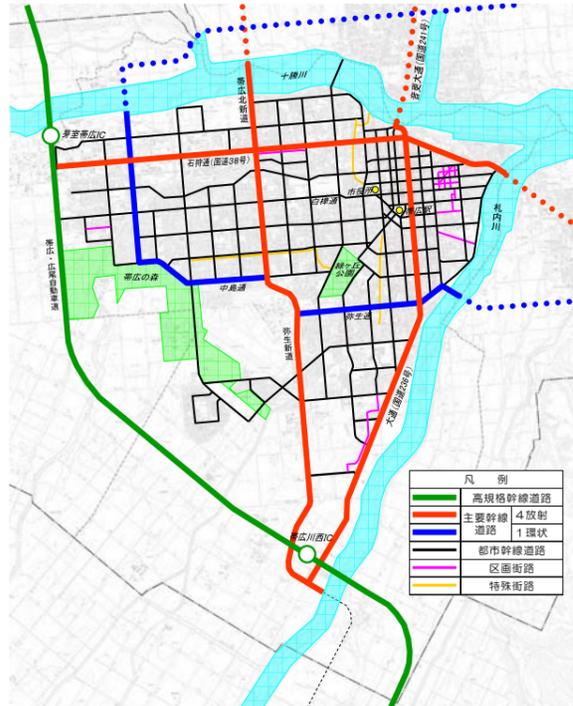
見直しの背景と必要性

帯広市の都市計画道路は、昭和19年の都市計画決定以降、人口増加や都市の発展に対応するため、都市計画道路網の拡充を図ってきました。
 しかし、近年の人口減少や少子高齢化の進展、都市の成熟化、経済の低成長などの社会経済情勢の変化により、都市計画道路として当初に決定したときの必要性や位置付けに変化が生じている可能性があります。
 このため、未整備の都市計画道路が、帯広市の目指すべき将来像に沿った計画となっているかを総合的に点検・検証し、適切な見直しを行う必要があります。



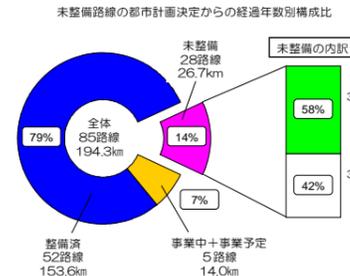
帯広市の都市計画道路網

現在の帯広市の都市計画道路網は、昭和58年に決定されているものが骨格となっています。



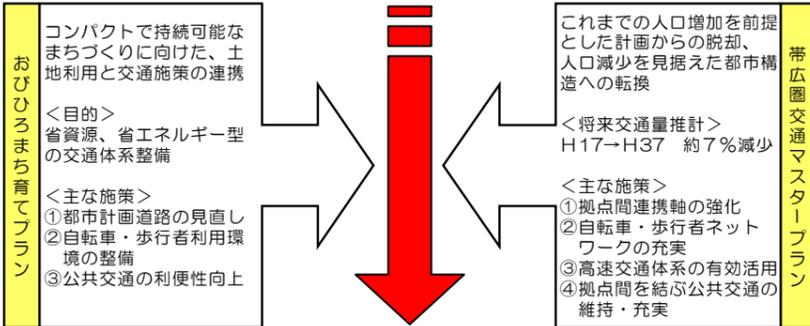
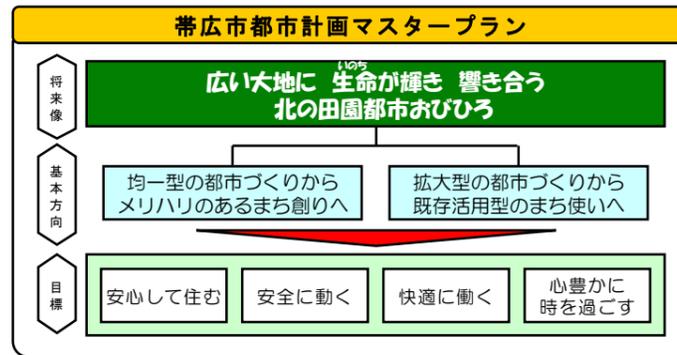
都市計画道路の整備状況

帯広市の都市計画道路は、平成20年3月末現在、85路線約194kmが都市計画決定されています。
 整備済延長は約15.4kmで整備率は約7.9%と着実に整備を進めていますが、依然として未整備延長が28路線約26.7km存在し、そのうち都市計画決定後30年以上経過するものが17路線約15.4kmと約58%を占めています。



目指すべき将来像

都市計画道路の見直しにあたっては、「帯広市都市計画マスタープラン」、「おびひろまち育てプラン」、「帯広圏交通マスタープラン」のほか、緑づくりの総合計画である「帯広市緑の基本計画」などを踏まえ、帯広市の目指すべき将来像の実現に向けた都市計画道路のあり方を整理しました。



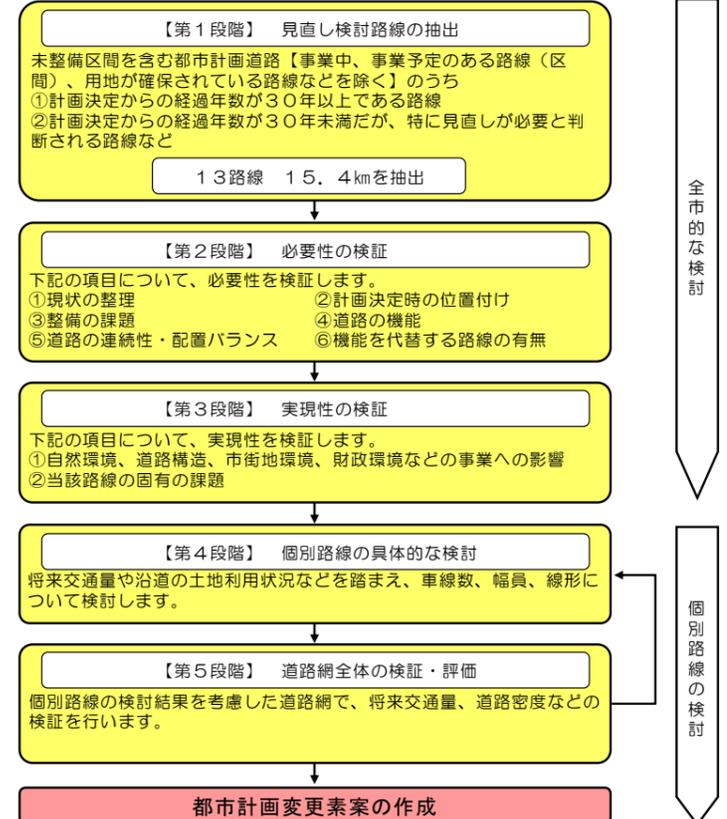
目指すべき将来像の実現に向けた都市計画道路のあり方

- ① 「環境にやさしい」まちづくり
 主要幹線道路である4放射1環状や幹線道路の整備を行い、交通渋滞の解消や自動車の走行性向上による走行時間の短縮、二酸化炭素などの排出ガスの削減を目指し、さらに、環境負荷の低減や健康増進などの観点から、自転車・歩行者のネットワークを充実し、省資源、省エネルギーに努めます。
 また、自然と共生し環境への負荷を抑えた緑あふれる快適な環境を創造するため、緑のネットワークの形成、貴重な緑地の保全に努め、環境にやさしいまちづくりをすすめます。
- ② 「安全で安心して暮らせる」まちづくり
 災害時の避難場所へのアクセス路や防災拠点への緊急輸送道路の確保など防災に対応した道路整備を行います。
 また、誰もが安全に移動できるように、ユニバーサルデザインに配慮した道路整備を行い、安全で安心して暮らせるまちづくりをすすめます。
- ③ 「公共交通が使いやすい」まちづくり
 路線バスの主要な路線となっている道路の整備を行い、地域の実情に応じたバス路線のネットワーク形成による利便性・快適性の向上を図ります。
 また、鉄道駅へのアクセス路を確保するなど、公共交通が使いやすいまちづくりをすすめます。
- ④ 「市民生活を支える」まちづくり
 高速道路のIC、帯広駅、工業団地、流通業務団地などの拠点へアクセスする幹線道路の整備を行い、人や物資の移動の円滑化を図り、市民生活を支えるまちづくりをすすめます。

帯広市都市建設部都市計画課

見直しの進め方

見直しは北海道が策定した「都市計画道路の見直しガイドライン」に基づき、下図の見直しの検討手順に沿って、見直し検討路線を抽出し、必要性・実現性の検証を行い、計画の「存続」、「変更」、「廃止」を判断し、個別路線の具体的な検討を行います。



今後の進め方

今後はこの基本的な考え方に基づいて作業をすすめ、個別路線の検討を行います。その結果、「変更」、「廃止」と判断された路線について、関係地権者や地域住民の方々を対象に説明会を行い、おおむねの合意が得られた段階で、都市計画変更の手続きに入ります。

